



## 謹賀新年

昨年とは格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

30年余り続いた平成から「令和」の時代が幕を開け、時の流れと過去の出来事を思い起こす2019年となりました。令和元年だけを振り返りますと、ラグビーワールドカップでの日本の活躍があった一方で、毎年生じる台風や豪雨による甚大な被害の発生、消費税の増税と軽減税率制度、複雑な仕組みが生活者と事業者を困惑させる場面が生じました。令和元年は間違いなく記憶に残る年になるのではないのでしょうか。

食品業界におきましては10月1日増税の騒ぎの最中、「食品ロス削減推進法」が施行され、また情報量が少ない中で「ゲノム編集食品」の制度がスタートしました。ゲノム編集食品に対し

人体へのダメージはもちろんです。環境への影響が危惧されます。短期間に且つ強制的に本来持つ遺伝子を切り取る手法のゲノム編集。従来の品種改良とは異なり、遺伝子や個体そのものへの負荷は間違いなく大きく、生命体のバランスや調和そのものに不安を感じます。表示制度は実質なく、知る権利と選ぶ権利も消失している不安の中、情報収集と弊社ができる対処を講じてまいります。消費者様、販売店様、流通、生産者様が協力して取り組む課題となります。食品ロスやゲノム編集食品。まさに持続可能な社会への取り組みとなるのではないのでしょうか。

SDGs(持続可能な発展目標)への関心と取り組みが国内外の事業者や

企業の間で高まってきました。人間・地球・繁栄・平和・パートナーシップが主軸となり、17目標と169の具体的アクション項目を見つめるうちに、マクロビオティック、オーガニックの普及と拡がり、つまり弊社の事業そのものがSDGsの取り組みに繋がっていることに気付かされます。

2015年国連サミットで採択されたSDGsは、50年強培ってきた弊社事業を融合させ、「持続可能な社会を次世代に手渡すために」を掲げた「ムソーのSDGs宣言」を行動指針として、中・長期的に取り組んでまいります。(内容は次ページをご参照ください。)

目まぐるしく変化する社会環境と市場環境の中、弊社がご提供する不

変の価値として「安心できる食べもの」「環境保全」「健康な生活方法」を常に心がけ、皆様のお役に立てるように社員一同で1年間取り組んでまいります。

2020年が皆様にとって素晴らしい1年でありますよう祈念いたしますとともに、昨年同様ご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

ムソー株式会社  
代表取締役

出口裕起

